# JSCA九州メール版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部
粕屋郡志免町別府北４丁目-2-1
TEL 092-627-1388 / FAX 092-627-1389
Web Site：http://jscakyushu.jp/
E－mail：info@jscakyushu-.jp

## 平成２８年度　第１回役員会議　in 佐賀　報告

ＪＳＣＡ九州支部「平成２８年度　第１回会議」が７月２９日、佐賀市のグランデはがくれ　ハーモニーホール　において開催されました。

宮田支部長の挨拶
「皆様お疲れ様です。熊本地震の協力について、改めてお礼申し上げます。応急危険度の判定については、51 名で延べ人数は 62 名の方に協力を頂きました。建築学会の悉皆調査には、15 名の方に協力を頂きました。有難うございました。義援金につきましては、熊本地区会の正会員の方に被災度合いに関わらず、均等に配分されています。義援金は、本部、九州支部、東北支部、大分地区会、鹿児島地区会から寄せられています。成り代わりましてお礼申し上げます。今後は、後程、満石熊本地区会長から説明が有ると思いますが、被災度判定（木造等の耐震診断）に移っていくと思われます。これからも協力の程、宜しくお願いします。それでは、議事の方を、宜しくお願いします。」

続いて各種懸案事項報告と審議、各委員会・部会・地区会の報告がありました。

熊本地区会　川島副幹事　満石幹事

熊本地区会（ＨＰの議事録より抜粋）

「初めに、JSCA 九州支部の皆様ならびに大分地区会の皆様、熊本地区会への義援金をいただき誠にありがとうございました。6 月 15 日平成 28 年度の JSCA 熊本地区会総会開催しました。総会では、義援金をどうするかが大きな議題となりました。業務環境の整備等、熊本県の復旧復興のために役立てることを目的として、地区会会員に均等に配分することを幹事より提案し、決定しました。JSCA 地区会員を含め、熊本県の建築設計関係者は、地震被害調査に携わっている人が多いと思います。被害調査が半分程度すみ、これから復旧設計に着手しようという段階で、かなり忙しい日々が続きそうです。今年度の講習会や現場見学会などの活動計画は、現状難しいと考えています。

次に、木造住宅の耐震診断に関するご相談です。

ご相談の流れは、熊本県建築士事務所協会より日事連九州ブロック会(福岡県建築士事務所協会)になると思います。耐震診断(一般診断)の申込は、熊本市のみで現在1600 件となっており、熊本市は今年度 450 件(予算済み 136 件 9 月補正 314 件の見込み)の実施を計画しているようです。予算がついた 10 月頃具体的にお願いすることになると考えられます。診断の委託料は、一般診断で 50,000 円／件と変わりませんが、別途交通費はお支払するそうです。

なお、熊本市物件では、熊本県・熊本市・事務所協会が主催する木造耐震診断講習会の受講が必要であり、9 月初旬福岡市内でその講習会を実施するそうです。

JSCA 九州支部としては、熊本県建築事務所協会から福岡県建築士事務所協会に依頼があった場合木造部会の参加可能メンバーの費用としては２５万程度を見積もっており、低予算の為支部で活動はしなく、会員の方への案内にとどめる。

耐震診断は、あくまで被災を受けてないものを対象としており、被災度区分判定とは別のものです。」

その他の議事として

・福岡県には耐震アドバイザー制度があり、補強計画から施工まで(登録業者)で行っている。

・福岡は木造診断は今まで3，000円/棟にて行っており、JSCA で試算している25万程度は現実は難しいと考えられ、会員さんに案内をし、熊本県で決められた設計料でされる方は個人で申し込みになるかと思われる。同じく、今後は、被災度区分判定についても、費用をどれくらい見込むかは今後の動向をみる必要がある。

・JSCA 九州会員名簿は必要と思われ、25周年記念に作成した写真入りの更新の作成、名簿だけの作成を再度詳細検討のうえ、作成する方向で進める。(鹿児島　木場氏に確認)

・九州支部地区会を含む役員の携帯番号を一括に作成し、各々の役員で保管する。

**詳しくは JSCA 九州 HP 上の議事録をご覧下さい。**

佐賀地区会の皆様　役員会の準備、運営お疲れ様でした。
今回で地区会持ち回りの役員会議が一巡いたしました。

佐賀地区会　豆田幹事
懇親会乾杯挨拶

佐賀地区会からのコメントです

JSCA 九州支部第1回役員会議に佐賀地区幹事として、初めて参加しました。
熊本地震の後ということで心配しておりましたが、全地区会の皆さんが御参加いただき有難うございました。
各地区会の報告において、熊本地区会の報告が皆さんにとって一番関心が高かったと思います。
まだ、行政を含め混乱している感があるように思いました。
構造設計者として、何かお手伝いできることはないかとは思いますが、私一人ではなにもできないので、JSCA 九州の一員として協力できればと思います。
役員会議後の懇親会は、皆様の御協力により無事終了することができました。
また、二次会にも御参加いただき有難うございました。
最後になりましたが、日々の業務をこなしながら御参加いただいた皆さん、有難うございました。
また、事務局として万全の準備いただいた江口さんはじめ地区会のみなさん、ご苦労様でした。

佐賀地区会　幹事　豆田和也

平成 28 年度第 1 回役員会にご多忙の中参加いただきありがとうございました。
また、翌日の JSCA ゴルフコンペも猛暑のなか大変お疲れ様でした。優勝副賞の佐賀牛はいかがだったでしょうか。
過去の役員会は沖縄でクルージング、大分で構造デザイン発表会、長崎では出島貸切の懇親会と嗜好を凝らした物になっており、役員会を開催することに決定してから佐賀地区会では「何を」と考えておりましたが、苦手とする分野で色々と考えるより平凡に役員会・懇親会を行うことといたしました。不手際等あったかと思いますが、無事に終えることができ胸を撫で下ろしております。
　役員会では熊本地震の話が多く聞かれましたが、熊本地区会は大変なご苦労をなされたことと思います。振り返ると、4 月末の日曜日に応急危険度判定士の派遣依頼が佐賀県庁・建築士会からありました。しかし、集合場所・派遣先・連絡先等の情報が錯綜し混乱した状態が続く中での派遣となったことを思い出します。佐賀でこの状態なのに熊本での混乱は大変なものと推察いたします。
近い将来、佐賀で熊本地震級の被災があった時のことを考えると、行政・建築士会・JSCA が中心になって活動することになると思いますが、果たして、その体制が現在できているかと言えば疑問に感じます。この機会に被災時の体制の確認・連絡網の整備等を行っておく必要性を強く感じました。
　最後になりますが、役員会準備に携わっていただいた方々にお礼を申し上げます。お疲れ様でした。
佐賀地区会　事務局　江口達実

佐賀地区会の皆様、誠にありがとうございました。

# ― 青年部通信　2016.06 ―

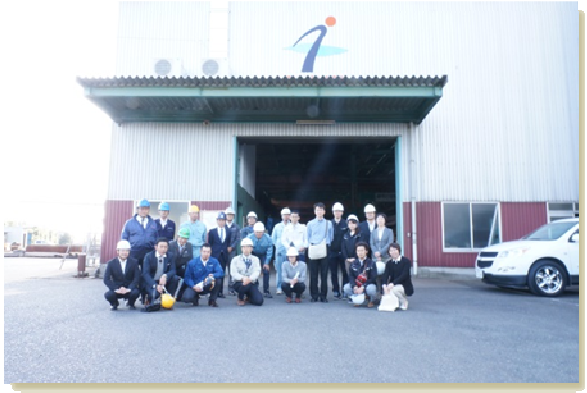
JSCA 会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。
青年部通信と題して青年部の活動や構成メンバーについて随時ご紹介していきます。

1.青年部の活動報告

①鉄構工業会青年部との交流事業（2015.10.31）

鉄構工業会青年部との勉強会および工場見学会を行いました。　座学による勉強会、鉄工所および　設計者相互の意見交換、工場見学を行いました。もちろん、その後も場所を変えて交流が続きました。

日頃、思っていても言えないことやお互いの立場での意見交換、工場での作業体験など有意義な交流会でした。

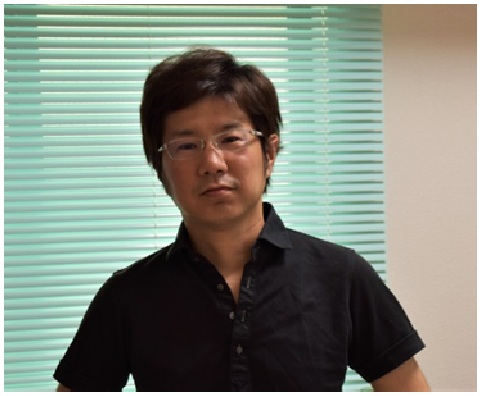


今回はエンドタブをテーマの一つとして、工業会の方々と意見交換会を行い、鋼製エンドタブを切断する工程の実演見学、体験をさせていただきました。
設計しているだけでは分かりにくいエンドタブ切断工程の詳細を身を以て体験することができました。また、鋼製エンドタブとセラミックタブの施工性の差を実感することができました。

②耐震設計講習会（2015.10.10）
「耐震設計の本質を視える化して学ぶ」と題して名古屋大学教授 福和伸夫氏の講義が開催されました。 構造計算についての講義ではなく、災害についての歴史や構造技術者としてクライアントに対してどう接するべきかを学んだのではないかと思います。
また、本講義のメインである視える化というキーワードに対して、身の回りにあるものやペーパーキットを使い、建物が揺れるメカニズムや、条件を変えた場合に地震の揺れに対してどのような変化が視られるかを体験しました。

2.青年部メンバーの紹介

今回は，江口設計の江口さんの紹介です。
江口設計の江口洋一郎と申します。
昨年 10 月に務めていた設計事務所を退社し、
11 月に念願の独立を果たしました。
仕事の休憩中に生まれたばかりの娘の顔を
見れるのは、自宅兼事務所の特権ですね。
ただ以前と違い、仕事の相談や世間話に
付き合ってくれる同僚はいないので、同年代で
活躍されている JSCA 青年部の方と話をする機会
がとても貴重でいい刺激になっています。
これからもよろしくお願いします。



最後まで読んでいただきありがとうございます。次号をお楽しみに。
編集：青年部会　上野 雄太(鹿島建設九州支店)　向井 浩史(牛島建築構造計画)